

## 2年生 大学模擬授業

7月18日

2年生は、10名の大学の先生方をお招きし、大学模擬授業を受けました。最初の10分で、大学や学部の紹介をしていただき、少し難しい専門的なお話を50分していただきました。直接大学の先生のお話を聴いて、大学の学びを具体的にイメージすることができました。11月の第一志望校の決定に向け、本日の大学模擬授業を参考に、自らの進路を深く考えて欲しいと思います。また、大学進学をこれまでよりイメージできた分、日々の授業の大切さを実感することができました。担当いただきました先生方、ありがとうございました。

### 模擬授業の様子

広島大学 大学院 教育学研究科 講師 森田 英樹 先生 経済学

～歴史・思想から、数学・ゲーム理論まで～  
多様に富んだ学問



講義の中で話があった「ゲーム論」はセンター試験にも使われているということなので、調べてみようと思いました。

広島大学 大学院 社会科学部 教授 小柏 葉子 先生 グローバル化する世界

グローバル化とは、政治・経済・社会・文化における境界的プロセスであることを学びました。また、グローバル化は、金融の中心となる都市で進むことを知りました。



広島大学 大学院 理学研究科 教授 井出 博 先生 生物と放射線



放射線でDNAが破壊されることによって、突然変異などが起こることを知りました。また、塩基配列が一文字違うだけで、その容姿や性質が変わるということも知りました。

光の波を物質の外側からほとんど受けないようにすることが可能になれば、透明マントを作ることができるということを知りました。



人間は最低でも3%の脂肪が必要であることを知りました。また、体重の増加・減少には、エネルギーバランスの大原則が関わっていることを学びました。

医療現場で働くイメージを持つことができ、これからどのようなことをしていくべきか考えることができました。また、「向き合う」ことの大切さを学びました。



他の国では、話す近さやジェスチャー、声の大きさ・高さ、表情、テンポに気をつけないと、伝わり方が変わってくることを学びました。

広島市立大学 情報科学部 教授 弘中 哲夫 先生 コンピュータの動作原理と  
プログラミング

プログラミングとは、カードゲームを作るように、ルールや進行方向などを決め、カードのデザインやイラストを考え、それらが思い通りに動くかテストを行う一連の流れであるということ学びました。



安田女子短期大学 保育科 教授 橋本 信子 先生 保育・幼児教育 はじめの一步！  
— 子どもにかかわる仕事の楽しさと奥深さ—



幼児が何か成功した時は、一瞬だけ褒めるのではなく、過去をさかのぼって、奥深い言葉で声をかけてあげようと思いました。

安田女子大学 文学部 教授 古瀬 雅義 先生

清少納言の「宮仕え論」  
—女性生き方への提言・『枕草子』から—

清少納言の一般論を認めつつ、自論を展開する方法は、現代でも有効なものだと思いました。



「自分の夢や目標を見つけ、将来何を学びたいかを考えよう！」  
がんばれ美高生！！